

No.101

# さいばいニュース

公益財団法人  
神奈川県栽培漁業協会

発行所 〒238-0237  
神奈川県三浦市三崎町  
城ヶ島養老子  
☎ 046(882)6980  
FAX 046(881)2233

新年あけましておめでとうございます。  
昨年中は、神奈川県栽培漁業協会の事業に対して皆様のご理解と多大なご支援を頂き、御礼申し上げます。  
神奈川県沿岸漁業は、近年、漁獲の種類、漁獲量が大きく変化していま



公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会  
理事長 後藤 勇

## 新年のご挨拶



す。その変化に対して漁家経営も順応している。漁家と非常に厳しい経営を迫られている漁家に分かれています。  
地球規模で海洋環境が変化していく中で、水産資源の分布や変動も過去の経験で予測がつかなくなっています。  
相模湾では昨年に引き続き、ヒラメが豊漁でしたが、持続的な漁獲を確保していくには、資源の管理を今以上にしよう。この理由については、

一九八七年から開始された種苗放流の翌年から漁獲量が増加し始め、一九九七年には七十八トンまで回復した。その後は増減を繰り返して、二〇〇七年には五十五トンまで低下したが、二〇〇八年以降は増加に転じ、二〇一四年は速報値ではあるが百六トンと一九七六年以来の百トン台となった。  
この原因は埋め立て地を造成するため浅場を少なくしたことや、東京湾の海底を深掘したことなどが言われています。  
栽培漁業は、畑づくり、種づくり、人づくりが大切です。栽培漁業協会は種づくりに努力していきま

不明の点も多いですが、東京湾の底層で夏から秋にかけて貧酸素水塊が広がっていることが疑われています。  
この原因は埋め立て地を造成するため浅場を少なくしたことや、東京湾の海底を深掘したことなどが言われています。  
栽培漁業は、畑づくり、種づくり、人づくりが大切です。栽培漁業協会は種づくりに努力していきま

今年も皆様方のご健勝と大漁を祈念して新年のご挨拶とします。



ヒラメ種苗放流

# ヒラメ 漁獲量と種苗放流 混入率について

神奈川県におけるヒラメ漁獲量を統計値がある一九五二年から見てみると、一九五二〜一九七六年の漁獲量は増減の変動はあるものの四十二〜百二十二トンで推移していたが、一九七七年以降は急激に減少し始め一九八七年には過去最低の二十二トンまで減少した。  
一九八七年から開始された種苗放流の翌年から漁獲量が増加し始め、一九九七年には七十八トンまで回復した。その後は増減を繰り返して、二〇〇七年には五十五トンまで低下したが、二〇〇八年以降は増加に転じ、二〇一四年は速報値ではあるが百六トンと一九七六年以来の百トン台となった。



図 神奈川県におけるヒラメ漁獲量、種苗放流尾数及び混入率

た。(図)  
一九八七年から開始された種苗放流は、初年度は〇・六万尾であったが、その後、徐々に増加し一九九〇〜二〇〇三年までは四十〜六十万尾を放流した。二〇〇四年以降は放流尾数が減少し、近年は二十五万尾前後と少

る。  
混入率(放流魚の割合)についても、種苗放流尾数が多い年よりも若干の遅れはあるものの一九九二〜二〇〇八年の混入率

は九・七〜二〇・〇%あったが、二〇〇九年以降は減少に転じた。近年五年間は四・六〜一〇・九%とやや低下傾向で推移している。(図)  
このように、近年、ヒラメ漁獲量は、種苗放流が減少しているにもかかわらず、増加してきている。この殆どは、天然魚が増えていることが要因であり、漁具規制や漁獲規制などの資源管理の効果と考えられる。しかし、漁獲尾数から求めた天然魚の資源尾数の解析結果は二〇一一年を境に減少に転じており、今後の資源動向には注意していく必要がある。  
神奈川県水産技術センター 櫻井 繁

## 潮騒

神奈川県 東京湾で二枚貝の養殖を行うこと  
で漁業者の収入安定を  
目指そうと  
いう取り組み  
が始められました▼  
すでにカキ養殖は行  
われ、販売までされ  
るようになっていま  
すが、今度は、ホタ  
テの養殖に取り組み  
ことになりました▼  
ホタテの養殖に取り  
組んでいるのは、横  
浜市漁協柴支所です。  
平成二十五年度に青  
森県から稚貝を購入  
して柴漁港で養殖試  
験を開始しました▼  
夏季は水温が高くム  
ラサキイガイやフジ  
ツボなどが付着する  
ため養殖を続けるこ  
とができませんが、  
冬季は水温が東北以  
北と比べ高いので成  
長が早いそうです▼  
一方、カキは平成二  
十一年から横須賀市  
東部漁協が養殖試験  
に取り組み、今では  
殻付きで年間一トン  
を生産しています▼  
神奈川県は東京湾の  
水産資源増大につな  
がれば、と支援して  
います。

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

全国においしさを運びます  
**タムラ運輸サービス株式会社**  
代表取締役 田村 琢馬  
本社  
〒239-0831  
横須賀市久里浜一丁目10-11  
TEL 046-843-4211  
FAX 046-843-4211  
長井営業所  
〒238-0316  
横須賀市長井五丁目2-47  
TEL 046-857-4664  
FAX 046-857-4669

**相模湾遊漁問題  
対話推進協議会**  
会長 久保田源太郎  
〒250-0021  
小田原市早川一丁目1-10-1  
TEL 0465-215989  
FAX 0465-215514

環境保全と水産業の振興を  
公益財団法人  
**相模湾水産振興事業団**  
理事長 武井 正  
〒250-0021  
小田原市早川一丁目1-10-1  
TEL 0465-215989  
FAX 0465-215514

**東京湾遊漁船業協同組合**  
理事長 飯島 正宏  
〒140-0002  
東京都品川区東品川一丁目1-1  
TEL 03-3471-7400  
FAX 03-3458-6835

公益社団法人  
**全国豊かな海づくり推進協会**  
会長 岸 宏  
〒103-0001  
東京都中央区日本橋小伝馬町九十六  
小伝馬町松村ビル六階  
TEL 03-5651-3501  
FAX 03-5651-3502

平成27年度活魚運搬船によるマダイ放流(供給事業含む)

放流場所	事業分	協力金	小計	相模湾事業団	日釣工	西部事業団	みうら漁協	江ノ島片瀬	二宮町	合計
金沢	25,000	14,000	39,000		50,000					89,000
久里浜	50,000	24,000	74,000		100,000					174,000
松輪	50,000	15,000	65,000		50,000		9,000			124,000
小田和湾	25,000	1,000	26,000			8,000				34,000
葉山	25,000		25,000	10,000						35,000
腰越腰		8,000	8,000	10,000						18,000
江ノ島片瀬	25,000	8,000	33,000	0				18,500		51,500
茅ヶ崎	25,000	5,000	30,000	10,000						40,000
二宮・大磯・平塚	25,000	2,000	27,000	25,000					5,000	57,000
小田原	25,000	4,000	29,000	20,000						49,000
岩			0	5,000						5,000
真鶴	25,000		25,000	10,000						35,000
福浦			0	10,000						10,000
合計	300,000	81,000	381,000	100,000	200,000	8,000	9,000	18,500	5,000	721,500



放流されるマダイ種苗

平均全長は七十五ミリメートルでした。

平成27年度

マダイ種苗 七十二万尾放流

平成二十七年の度マダイ種苗放流は、八月八日

に東京湾の横浜市金沢区沖から湯河原町福浦まで

表に示すように事業分は、栽培漁業協会に納付して頂いている漁業者負担金、遊漁協力金分、協力金はマダイ釣人・釣船が二十六年に寄付して頂いた分です。これらの資金で放流した尾数は三十八万一千尾です。

藤沢市漁協・葉山組合長 漁協運動功労者表彰



葉山組合長

当協会の理事でもある藤沢市漁協の葉山一郎組合長は、昨年十一月十九日に東京千代田区の如水会館で開催された二〇一五年年度漁協運動功労者表彰式で表彰されました。

また、藤沢市と協力して「ハマグリ種苗放流体験イベント」を開催するなど、市民との交流に積極的に取り組んでいることが評価されて表彰されました。

め、当協会理事をはじめ神奈川県漁連役員などの要職も歴任し

これらを合計すると七十五万尾を平成二十七年に放流しました。この種苗が漁獲されるのは三年後からで、主に四年から六年後に回収が期待されます。



落水デモ

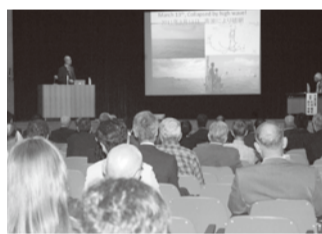
一人乗り漁船などの船舶乗組員が誤って海に転落したり急病に罹ったときに直ちに救援体制がとれるようにする「小型漁船救急支援装置説明会」を開催されました。

神奈川県漁業無線協会 小型船舶救急支援装置説明会開く

この装置を開発したメーカーの説明の後、漁船から人が落水すると直ちに陸上の救急信号受信装置のサイレンが鳴り出し、参加した漁業者は、その速さに驚きの声を上げていました。

説明会を行ったのは神奈川県漁業無線協会(磯部進会長)です。同協会では、神奈川県が整備した受信装置が、昨年四月から漁業無線局で運用が開始され、また、漁業者が救急信号発信装置を取り付ける際、沿岸漁業改善資金が使えるようになり、救難体制が一段と整ったと話しています。

相模湾シンポジウム開く



シンポジウム会場

第三十九回「相模湾の環境保全と水産振興」シンポジウムは、「相模湾の定置網漁業の現状、課題と今後の方向について」をテーマに、昨年十月二十日、小田原市生涯学習センターホールで開催されました。

東京海洋大学の有元貴文氏が「外から見直す日本の定置網漁業」現状と今後の課題」について基調講演を行いました。福井県の鮎川航太氏が「若狭湾の定置網漁業と魚群行動調査の可能性」、静岡県の鈴木勇己氏、神奈川県の高村正造氏が「相模湾の定置網漁業の漁獲量と魚種組成の推移」、網代漁業の泉澤宏林晋也の両氏が「定置網で漁獲される魚の価格向上の取り組み」と題し話題を提供しました。

一月八日 漁業者交流大会

平成二十七年神奈川県漁業者交流大会は一月八日午後一時から、横浜市栄区のあーすぶらざで開催されます。合計四名の漁業士認定書授与式のあと、「横須賀の新ブランド「養殖カキ」」について活動発表、引き続き、県漁業士会の活動紹介、磯焼けなどについて話題提供が行われます。

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

株式会社リビエラリゾート  
シーボニアマリーナ

〒238-0225  
三浦市三崎町小網代二二八六  
TEL 〇四六八八二二二二

神奈川県しらす船曳網漁業  
連絡協議会

会長 杉山 武

〒二五〇一〇八〇三  
平塚市千石河原一八一三  
TEL 〇四六三二二一〇一四六  
FAX 〇四六三二二一五七二九

一般財団法人  
東京湾南部水産振興事業団

理事長 岩崎 一郎

〒239-0831  
神奈川県横須賀市久里浜八一九五  
TEL 〇四六八三三四一三五九六  
FAX 〇四六八三三四一三六九〇

一般社団法人  
神奈川県漁業無線協会

会長理事 磯部 進

〒238-0232  
三浦市晴海町一七  
TEL 〇四六八八二二七八四

漁船漁業を守ります。  
神奈川県漁船保険組合

組合長理事 太田 謙

〒236-0051  
横浜市金沢区富岡東二一〇二二  
TEL 〇四五七七二一七三〇一  
FAX 〇四五七七七八一三三九二〇

JF 神奈川県漁連  
神奈川県漁業協同組合連合会

代表理事 高橋 征人

〒236-0051  
横浜市金沢区富岡東二一〇二二  
TEL 〇四五七七三六七七七



カサゴ

種苗放流



ヒラメ



マダイ

種苗放流



クロダイ

当協会は、神奈川県下の海を豊かにするために、水産種苗の生産・放流、配布事業などに取り組んでいます。県下各地の種苗放流イベントにも参加しています。当協会が生産したマダイ、クロダイ、カサゴに加え、当協会が確保したヒラメ種苗の放流も行いました。

◆横須賀 ヒラメ

昨年六月七日、百五十人が参加し、横須賀市長井町の荒崎海岸で、浜辺のクリーンフェスタに参加していた親子づれ百五十人が、千尾のヒラメ種苗の放流イベントを行いました。

◆平塚 ヒラメ

七月一日、平塚漁港でヒラメ種苗千尾の放流イベントが行われました。地元の小・中学校の児童が体験授業の一環として遊漁船で沖に出る船で沖に出る放流しました。

◆金沢 カサゴ

六月二十五日、横浜市・金沢小の五年生百三十二人が授業の一環として遊漁船に乗り沖に出て千尾のカサゴ種苗を放流しました。

◆小田原 マダイ

小田原みなと祭りが開催された八月二日、地元関係者三十人が漁船に乗り沖に出て千尾のマダイ種苗を放流しました。当協会は祭り会場で栽培漁業PRコーナーを設け、稚魚の展示などを行いました。

◆三浦 マダイ

九月十一日、三浦市・名向小の四年生五十人が小網代湾に千尾のマダイ種苗を放流しました。NPO法人小網代パール海育隊が主催したものです。

◆横浜 マダイ

九月二十三日、横浜ベイサイドマリーナは、「YBM海の学校」事業の一環として、四十人が参加するマダイ稚魚千尾の放流を行いました。

◆鎌倉 マダイ

鎌倉市・腰越みなとまつりが九月二十七日に開催され、来場した百五十人の親子が六百尾のマダイ稚魚を放流しました。

◆横須賀 クロダイ

十月四日、横須賀市長井町の荒崎海岸のクリーンフェスタに参加した親子連れなど六十人がクロダイ種苗を放流しました。

◆川崎 クロダイ

十月十日、川崎市の東扇島公園の人工海岸で九十人が参加して二千尾のクロダイ稚魚を放流しました。

平成27年度 栽培普及啓発事業 県下の海を豊かに! 各地で種苗放流

七月二十日、千尾のカサゴ種苗を放流しました。

七月二十日、千尾のカサゴ種苗を放流しました。横浜埠頭(株)が環境の一環で実施しました。

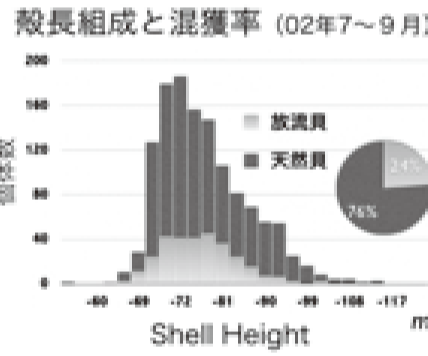
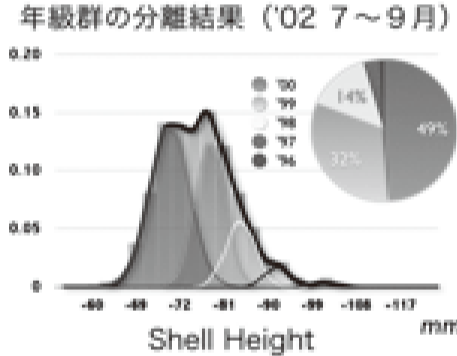
七月二十日、千尾のカサゴ種苗を放流しました。

さいばい漁業つて何 ⑬

公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会

専務理事 今井利為

サザエの混獲率



長井町漁協における市場調査結果

(左) : 漁獲物中放流貝の占める割合(混獲率)は24%であった。(右) : 図2のグラフの内、放流貝の部分年齢分解した結果放流後2年及び3年の放流貝で81%を占めていた。

滝口(未発表)

表1 放流年別回収率及び経済効果等の推定結果(調査期間:平成10年4月から平成15年3月 長井町漁協)

Table with 9 columns: 放流年, 調査期間中の回収数, 放流量, 回収率(%), 水揚げ額(円), 放流経費(円), 経済効果(水揚げ額/放流経費). Rows for years H6 to H13.

注: 調査期間 平成10年4月から平成15年3月

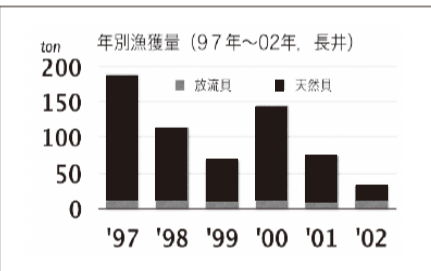
放流貝の漁獲は年平均十トンと安定しています。二〇〇二年は全体の漁獲量三十三トンに対し放流貝が十・二トンを占めていました。

費用対効果

サザエの回収率は、他の栽培漁業対象種が十パーセント前後と比較すると二十から四十パーセントと高く、この数値からは栽培漁業の優等生です。現在、サザエの種苗は一個二十四・七円で漁業協同組合へ販売しています。

サザエの回収率はアワビと比較すると非常に高く、二十から四十パーセントに達しています。長井町漁協では放流貝・天然貝を合わせたサザエの年漁獲量は、三十から百八十トンと大きく変動します。そういった中で

回収率



回収率はアワビと比較すると非常に高く、二十から四十パーセントに達しています。長井町漁協では放流貝・天然貝を合わせたサザエの年漁獲量は、三十から百八十トンと大きく変動します。そういった中で

(つづく)

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

Advertisement for 株式会社 パル (Kawamura & Co., Ltd.) with contact info: 〒238-0224 神奈川県三浦市三崎町諸磯1249 TEL 046-880-0757 FAX 050-3730-8101

Advertisement for げんこつや (Genkotsuya) with contact info: 〒240-0104 横須賀市若名二丁目二二番三 TEL 046-1857-1529

Advertisement for (有)瀬戸佐真センター (Seto Soma Center) with contact info: 〒720-0203 広島県福山市田尻町四二八九番地 TEL 084-956-1347 FAX 084-956-1347

Advertisement for クロレラ工業株式会社 (Kurore Industrial Co., Ltd.) with contact info: 〒833-0056 福岡県筑後市久富一三四三 TEL 094-251-2261 FAX 094-251-7203

Advertisement for 株式会社 鈴木組 (Suzuki Group) with contact info: 〒259-0201 足柄下郡真鶴町真鶴九九五十二 TEL 0465-168-5555



## 朝市・直販所めぐり

### サザエ・鎌倉海老(イセエビ)などを生産者価格で販売 鎌倉漁協の販売部会直売所

鎌倉漁協は、所属の漁業者が漁獲する魚介類の価格安定を目的し、二つの水槽を持ち、また、冷蔵庫、製氷装置を装備した販売部会直売所を運営しています。ここでは周年サザエを販売しています。電話やメールで予約を受け付けていますが、特に有名な「鎌倉海老」と呼ばれるイセエビを生産者価格で販売し、お客さんに大好評です。



温度管理も実施している水槽

漁模様によって販売している魚は違いますが、ヒラメ、メバル、カサゴ、メジナ、シタビラメ、カワハギなどです。イセエビ、魚類は水槽の水温を十五度C、サザエなどの貝類は十八度Cで管理し、活きのよい魚介類を提供しています。

- 【アクセス】江の島電鉄の長谷駅を下車し、海岸に向かい、国道134号線を江の島の方向に向かい、徒歩7~8分で鎌倉漁協(鎌倉市坂の下32-13)に到着します。  
営業時間:午前9:00—午後4:00(土・日・祝祭日は休み)
- 【問い合わせ先】鎌倉漁業協同組合  
**0467-22-3403**

## マダイ資源増大に役立ててと今年もシマノから多額の寄付



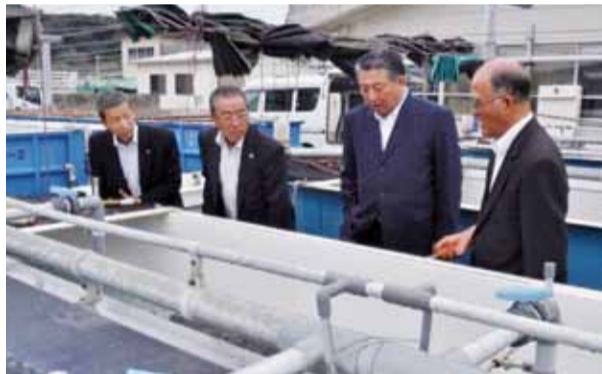
寄付を受ける今井専務

### 「ハギマスタ」参加者からも

### リビエラリゾート

「マダイ資源の維持・増大のために」と繰り返し当協会に多額の寄付を続けてきた。平成十三年度の当協会の「マダイ遊漁者協力金制度」スタート時から寄付していただいております。これまでその総額は、約千八百万円に達しています。

また、リビエラリゾートは、昨年十一月に開催した「ハギマスタ」2015の参加艇の参加費の一部である八万五千円を当協会に寄付してくれました。



栽培漁業施設を見学

その後、同グループ一行は当協会の今井利為専務が案内し、栽培漁業関連施設を見学しました。代表は、今後同グループとして機会あるごとに当協会の事業を支援します、と話しています。

## 「かざして募金」の中止について

平成26年7月から当協会は、ソフトバンクモバイル株式会社が提供する「かざして募金」に登録し、募金ができるシステムに参加してきました。

しかし、募金金額がシステム維持管理費と比較して大幅に低いため、「かざして募金」の登録を平成27年10月で取り消すことにしました。

今まで「かざして募金」にご寄附頂きご協力いただいた方々には御礼申し上げます。

### KTグループ・神奈川トヨタ商事 栽培漁業振興に役立ててと寄付

KTグループの神奈川トヨタ商事(高橋正夫社長)は昨年九月十六日、三浦市三崎町城ヶ島の当協会を訪れ、栽培漁業の振興に役立ててほしい、と十万円を寄付してくれました。また、同グループの上野建彦代表からも個人として五万円の寄付をいただきました。

その後、同グループ一行は当協会の今井利為専務が案内し、栽培漁業関連施設を見学しました。代表は、今後同グループとして機会あるごとに当協会の事業を支援します、と話しています。

その後、同グループは、寄付活動を行うなど、当協会に対する支援を行うとともに、種苗放流イベントなどを通じて協力を継続していく方針です。

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

**Brine Shrimp EGGS-90**

株式会社 **北村**

〒604-0051 京都市中京区二条油小路町291  
TEL 075-221-6695

売上の一部が  
放流事業に寄付される  
自販機設置にご協力  
ください。

サントリービバレッジサービス株式会社

TEL 045-573-6366  
FAX 045-573-2858

午後の紅茶®